

②全国の目撃情報分布



左の図は全国の目撃情報を都道府県ごとにまとめたものだ。図を見てみると、目撃情報は東日本よりも西日本のほうが多いということがわかる。岐阜県での目撃件数が最も多く、京都・和歌山・奈良などの近畿地方での目撃情報も多いことが確認できる。また、北海道や東北地方などの寒さが厳しい地域では、ツチノコが冬眠している期間が長いため、目撃情報が少ないのではないかと考えられる。

- ・ツチノコの歴史・目撃記録
- ・つちのこ情報つちのこって? / 奈良市
- ・http://web1.kcn.jp/tutino/public_html/rekiel_mokugaki.htm
- ・ツチノコを探して1億円ゲットだぜ! 糸魚川で小学生とつちのこ探検隊に入隊してきた / 糸魚川市
- ・新潟県観光協会公式ブログたびまち | 【公式】新潟県のおすすめ観光・旅行情報 | にいがた観光ナビ
- ・つちのこ探検 | つちのこ探検 | 糸魚川について | 糸魚川村役場
- ・幻のつくり方/How to make the UMA
- ・<http://contents.kohnan-eshop.com/001-bt-staleid-zundarowsh.jp>
- ・www2.nhk.or.jp 近畿地方の自然
- ・repken.com
- ・ntv.co.jp

⑥参考文献

①調べようと思った理由

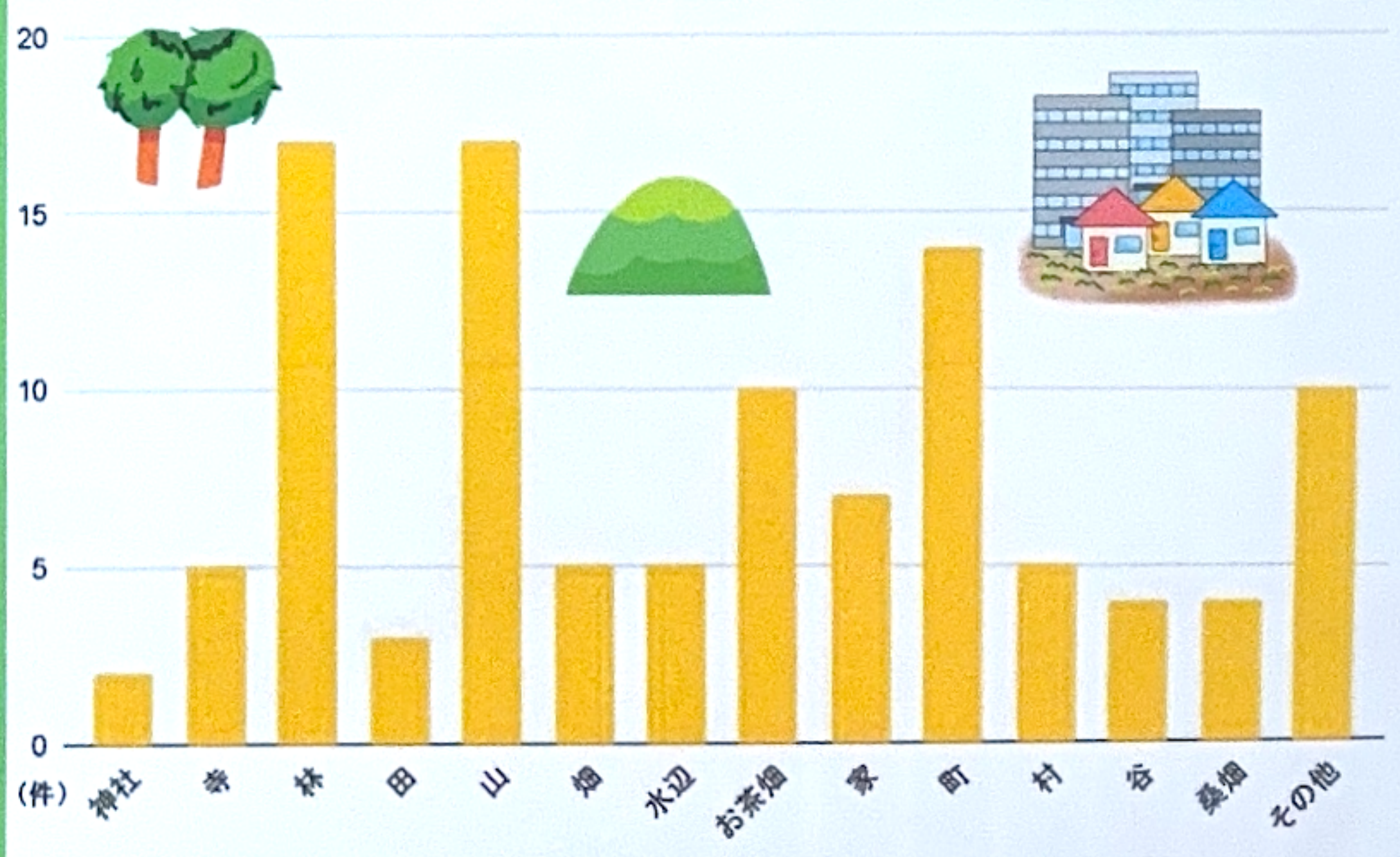
私たちは、正体不明なツチノコだからこそ新たな発見をしたいと考えた。そこで、今後の未確認生物の発見に貢献できるようなデータを集めることを目標に、ツチノコの目撃場所の共通点・分布について調べることにした。

④ツチノコの正体を探る

目撃情報が多かった場所の共通点から、ツチノコの正体として考えられる生き物は
・アオジタトカゲ ・マツカサトカゲ の二つだ。
この二つのうちアオジタトカゲは、主に森林・都市部で目撃されることが多い生物であるため、目撃情報の多かった地域の共通点と一致している。アオジタトカゲは、主にオーストラリアに生息しているが、1970年代にペットとしての需要が高まり、ツチノコは林業が盛んな地域での目撃が多いので、海外からの木材の輸入に紛れ込むなどして、日本での生息が増えたと考えられる。以上のことから、ツチノコの正体はアオジタトカゲではないのだろうか。

③目撃情報が多かった場所の共通点

目撃情報が10を超える場所を、目撃情報が多い場所として分析する。



⑤まとめ

このようなデータから、全国目撃情報では岐阜や京都、和歌山、奈良などの近畿地方周辺で多くなっているということがわかる。また、目撃情報が多かった地域では、森林・都市部で目撃情報が多数出ているという共通点を確認できた。以上のことから、ツチノコの正体は、主に森林が豊かな地域や都市部で目撃される・容姿がツチノコに似ているといった様々な理由から、アオジタトカゲではないかと考える。